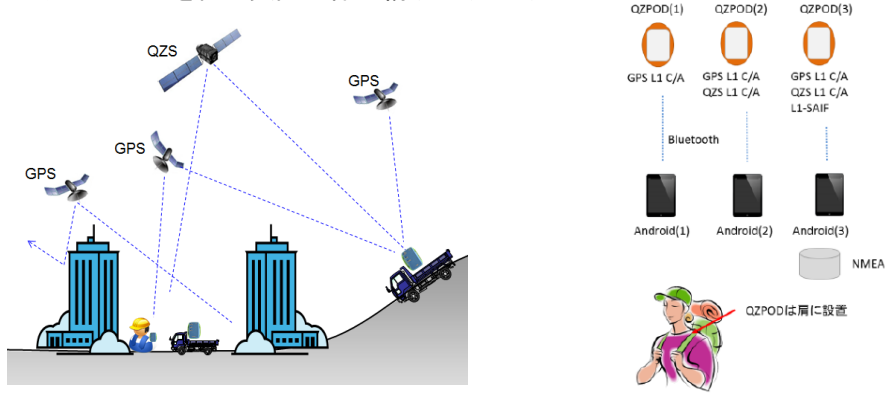


# 利用実証計画書

平成26年9月1日 Ver.1

テーマ	市街地の狭隘な建物間や山間部の樹林地において QZS を利用した場合の測位精度の実証 (L1-SAIF)	
実施機関 (共同機関)	(株)安藤・間(呼称:安藤ハザマ)	
目的	都市部における建築工事や郊外での土木工事での利用を想定して、GPS に準天頂衛星が加わったことによる測位確率や精度の向上を実証する	
内容	<p>QZS からの補強信号と補完信号を利用した場合としない場合での、測位確率や精度を比較検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の不動点における、補強信号あり/なし、補完信号あり/なし、の測位結果の比較</li> <li>・観測エリア(建物間、樹林近傍)を違えての、上記比較</li> <li>・利用効果の定量的評価として、TS(トータステーション)や測量用巻き尺による測量結果との対比</li> <li>・測位結果を表示し、記録するアプリケーションは、実験参加者で開発する。</li> </ul>	
期間	全体	実証可能な全体期間 H26. 10. 1 ~ H27. 3. 31
	時間・頻度	実験時刻(9:00~16:00)、1回あたりの実験時間(3時間程度)、実験頻度(2回/週)
構成	<p>①アプリケーションを含む実証全体の構成図(下右)</p>  <p>②衛星測位部分をクローズアップした測位機能図(上左) ※QZPOD 3台 借用</p>	
システム要求	受信信号	QZS-L1SAIF、QZS- L1CA、GPS-L1CA
	受信設備	QZPOD 3台(SPAC 殿からの貸与)
	受信場所	茨城県つくば市内(当社技術研究所敷地内)
	事前準備	特になし
	実証時	特になし
	事後処理	特になし
	その他	特になし
特記事項	特になし	